

The Future Of Art Center

アートセンターの未来

2月24日(月・祝) 14:00start (13:30開場) SCARTSコート (札幌市民交流プラザ1階) **入場無料**
※16:30ごろ終了予定

[参加申込み] 1月24日(金)受付開始 定員 100名(先着順)

右記の内容を明記の上、メールにてお申し込みください。お名前(フリガナ)/ご連絡先(ご住所・電話番号)/メールアドレス/参加人数(2名まで) ●申込先 scarts@sapporo-caf.org

加藤 義夫氏

宝塚市立文化芸術センター 館長
キュレーター/美術評論家

大阪生まれ。グラフィックデザイナーや
ギャラリストを経て、97年加藤義夫芸
術計画室を設立し、展覧会の企画制
作や評論活動を展開する。

現在、宝塚市立文化芸術センター館
長(2020年4月オープン)、大阪芸術
大学客員教授、美術評論家連盟会
員、朝日新聞大阪本社「美術評」担
当、芦屋市文化振興審議会副委員
長、一般社団法人日本現代美術振興
協会理事、一般社団法人デザインマ
ネジメント協会理事。

山本麻友美氏

京都芸術センター
チーフプログラムディレクター

ジャンルにとらわれない創作を積極的
に行い、実験的な新しい支援する京
都芸術センターの事業統括を行う。
「東アジア文化都市2017京都 アジア
回廊現代美術展」(二条城・京都芸術
センター、2017年)、「山城知佳子
土の人」(京都芸術センター、2018
年)、「マルコス・フォレロ-repeated
trace-」(京都芸術センター、2019年)
ではキュレーターを務めた。

酒井 秀治氏

(株)SS計画 代表取締役
まちづくりプランナー

札幌生まれ。北海道大学工学研究
科を修了後、まちづくりコンサルタン
ト会社で、都心部の再開発や広場づく
り、リノベーションによるカフェの企画・
デザインに従事。その傍ら市民による
環境活動『サッポロ・ミツバチ・プロ
ジェクト』を設立、理事長を務める。近
年は、まちづくりとアートの学校
『Think School』にも関わる。2019年
SCARTS主催『Collective P』企画・
市民参加コーディネイト担当。一級建
築士。

芦立さやか氏

Arts Tropical 主宰
アートコーディネーター

札幌生まれ、現在沖縄県在住。
2004年からBankART1929で勤務。
2010年、文化庁の新進芸術家海外
研修制度派遣で、Residency
Unlimited(NY / アメリカ)に関わりな
がらアーティストインレジデンスやア
ーティストのスタジオについて調査。
2011年より京都市内にあるHAPSで
勤務、2018年よりArts Tropicalを主
宰しながら、沖縄のアーツカウンシル
でプログラム・オフィサーとして勤務中。

吉崎 元章

札幌文化芸術交流センター SCARTS
プログラムディレクター

札幌芸術の森に1986年のオープン
時より勤務。1990年間館の札幌芸術
の森美術館に準備期から学芸員とし
て関わり、ヴィーグラン展などの彫刻
の展覧会や、「中根邸の画家たち」
「さっぽろ・昭和30年代」などの札幌
の美術を扱った展覧会を多く手がけ
る。一般財団法人地域創造参事を経
て、2018年4月より現職。



札幌文化芸術交流センター SCARTSは、札幌の文化芸術活動に寄り添い育んでいくことを目指し、2018年10月7日にオープンしました。ここで行うべき札幌にとって本当に有益な展開とは、どのようなものなのでしょうか。SCARTSのこれまでの活動を振り返るとともに、全国各地で特徴的な取り組みを続けるアートセンターの事例を紹介しながら、地域とのかかわりやアーティストの支援など共通する課題を浮き彫りにし、SCARTSのこれからの対する手がかりを探ります。ぜひお気軽に足をお運びください。



©主催/札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団) ©後援/札幌市

©お問い合わせ/札幌文化芸術交流センター SCARTS

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階 TEL 011-271-1955 (9時~17時)

©詳しい情報は、札幌文化芸術交流センター SCARTS HPをご覧ください。 <https://sapporo-community-plaza.jp/scarts.php>

※札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通駅」30番出口から徒歩約2分 ※さっぽろ地下街オーロラタウンから西2丁目地下歩道直結

